

中国残留邦人等の体験と労苦を伝える 「戦後世代の語り部」講話会

戦争はどのように人の人生を変えるのか

—中国残留邦人山崎幹子の経験から—

敗戦時 15 歳だった少女は生きるために中国人家庭に入りました。その後別れた家族と会うことは二度とありませんでした。38 年後家族とともに帰国。孫である語り部が祖母の残留婦人としての人生に辿り着いたのは成人してからでした。それは初めて知る家族の歴史でもありました。祖母の体験がその家族にもたらしたもののは?

※都合により、語り部が変更になりました

■語り部:山崎 哲さん

■日 時:2026年1月11日(日)
10時~11時半

■会 場:北海道立道民活動センター
(かでる2・7)940号室

■参加費:無料 ■定員:30名

■お申込み:以下のフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/5mBv2qcJmIXw7Nqt8>



※「戦後世代の語り部」は、首都圏中国帰国者支援・交流センター(厚生労働省委託)が、中国・樺太残留邦人の体験を次世代に語り継ぐために育成した戦後世代の伝承者です



社会福祉法人さっぽうと21は文部科学省委託により「難民等に対する日本語教師研修」を行っています。中国帰国者の方々への日本語教育についても学ぶ研修です。この事業の一環として、より多くの方々に難民、中国帰国者の方々のことを知っていただきたく、札幌での「講話会」を企画しました。ご興味をお持ちくださる方どなたにもご参加いただけます。この機会に、ぜひ語り部の方のお話を通じて、身近にいるかもしれない帰国者の方の想いに耳を傾けてみませんか。

主催:社会福祉法人さっぽうと21 <https://support21.or.jp/>

東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6 階

電話:03-5449-1331 ☐ kensyu@support21.or.jp

後援:公益財団法人 札幌国際プラザ <https://www.plaza-sapporo.or.jp/>

※文部科学省「令和7年度現職日本語教師研修プログラム普及事業」

※中国帰国者支援・交流センター「戦後世代の語り部」事業